

行仙宿 棚の完成

- ◇ 実施日 平成26年3月8日(土)
- ◇ 天候 快晴。気温：9時0℃、10時零下1℃、15時3℃。
- ◇ 参加者 眞砂民雄、田中稔昭 計2名
- ◇ 作業内容； 2月24日～25日で完成できなかった行仙宿の棚の完成。

昨日、大東市の自宅を15時に発ち、きなり湯に入り夕飯を取った後、駐車場で車中泊。今朝7時半に登山口へ出発。少しはやめに到着したので、周囲の山々をゆったりと眺めて待った。登山口辺りの気温は天気予報通りで0℃であったが、朝の日差しは大変明るく、空は澄み渡る青さである。日向に立っていると温かみを感じるくらいの好天である。そう言えば、上がって来る途中の浦向の民家の庭先に、枝垂れの梅が咲いていた。平地より寒いこの辺りの郷にも春が来ているなど感じた。

眞砂さんが到着されたので身支度をし、と言って今回はアイゼンは勿論必要なく、道具類も少ないので身軽に出発。前回2月24日は補給路の最初から最後まで10cm～30cmの残雪があったのに反し、今回は大変登り易い。

行仙宿到着時点の気温は零下1℃。まず一番にロケット・ストーブに火を点け、早々に作業に着手。棚の残作業は、棚板の釘留めと棚受け材の取り付け。現寸に合わせて板と棧を細工しなければならぬので、割合時間がかかった。30分の昼食をは

さんで、午後2時に棚は完成。

その後1時間かけて物品を整理し、テプラーに名前を印字し貼り付けた。

「非常食品」、「行仙宿日誌」、「救急箱」、「救助用具」など。整理してもいいものか判断しかねる物は、先輩諸氏と相談の上今後要整理。

作業時間は結局5時間必要であったから、10時作業開始で上がって来て丁度良かった。棚は完成できた。

山小屋の維持管理は大事なことと思ひ、棚に続いて囲炉裏土間側の板の間を少し広げると一層快適・便利になるなど二人で話し合いながら下山した。(眞砂・田中 記)

行動タイム

登山口 9:00→10:00 行仙宿 15:00→15:40 登山口